

地域をともに創っていく
新しいつながりのカタチ
NPO,行政,地域住民,企業...

9/30 [金] 13:00～16:30

●LIVE動画配信●

●参加無料●

対象：地域共生社会に関心のある方
NPOの活動に興味のある方
SDGsなど、持続可能な社会づくりに
関心のある方 etc...
どなたでもご参加いただけます！

— N P O、行政、地域住民、企業による連携の形 —

地域共生社会の実現に向けた
多様な主体による取組

タイムスケジュール

開会 13:00

第1部 13:10～ 基調講演
「地域共生社会の実現に向けた取組の最新動向」
厚生労働省社会・援護局地域福祉課

第2部 13:30～15:50 パネルディスカッション

①視点の提示「成果報告にあたって」
ファシリテーター 筒井 のり子 さん

②地域共生社会の実現に向けた取組の成果報告

- 1.フードバンク岩手子ども応援プロジェクト事業
(特定非営利活動法人フードバンク岩手)
- 2.子どもや社会的孤立にある人へのコミュニティ拠点型アウトリーチ事業
(特定非営利活動法人ダイバーシティ工房)
- 3.重度障害者による芸術活動の推進と支援者の育成事業と障害者雇用の在り方
(認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル×サンネット株式会社)


休憩 15:50～16:00

※登壇者詳細は裏面をご覧ください。

第3部 16:00～16:30 質疑応答／まとめ

閉会 16:30

※本プログラムは予告なく変更する場合がございます。
詳細はWAM ホームページにてご確認ください。

主催  独立行政法人福祉医療機構(WAM)


後援  厚生労働省

★お問合せ★

独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター

NPO振興課 TEL:03-3438-9942

WAMホームページまたはQRコードから
お申込みください。

WAM助成 



読み取れない
場合はWAM
ホームページ
からお申し込
みください。

現在の日本においては、少子高齢・人口減少や核家族等により地域社会の脆弱化等が指摘され、人と人とのつながりが希薄になっています。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の孤独や孤立が深刻化する中で、「つながり」の重要性が改めて強く認識されました。このような状況の中、民間活動においては多様な主体が新しいつながりを模索し、誰ひとり取り残さない支援の取組を進めていく必要があります。

本シンポジウムでは、地域共生社会の実現に向けた政策の最新動向やWAM助成の優良事例から、NPO、行政、企業、地域住民による新しいつながりによって、地域社会をどのように創っていくのか、事例のプロセスを紐解きながら、そのヒントを探ります。

～基調講演～



「地域共生社会の実現に向けた取組の最新動向」

米田 隆史 さん

厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生社会推進室長

兵庫県出身。平成15年4月厚生労働省入省。これまで、医療保険制度改革や働き方改革などの制度改革、障害福祉サービスの報酬改定、国会との連絡調整などに従事。山梨県北杜市の福祉課長として市役所勤務も経験。令和4年7月から現職。



～パネルディスカッション～

① 視点の提示「成果報告にあたって」



筒井 のり子 さん

龍谷大学社会学部教授

関西学院大学大学院在学中から7年間、地域福祉を推進する市民活動団体の事務局長を経験。その後、大学教員となり1999年から龍谷大学勤務。地域福祉論、ボランティア・NPO論などを担当。同大学のボランティア・NPO活動センター長も務める。また、日本ボランティアコーディネーター協会や権利擁護団体など複数のNPO法人の創設・運営に携わる。大阪府や滋賀県内の社会福祉審議会委員などを歴任。

② 地域共生社会の実現に向けた取組の成果報告

● 特定非営利活動法人フードバンク岩手 ●



阿部 知幸 さん

特定非営利活動法人フードバンク岩手
副理事長/事務局長

東日本大震災をきっかけに一般企業からNPOの世界へ転身。被災者や被災地で暮らす人の様々な相談を受け、岩手県内に食のセーフティネット構築の必要性を感じフードバンク岩手設立に向け、2012年より準備を開始、2014年10月から活動開始。行政等との連携したフードバンク活動の他、災害時の支援活動や南海トラフ等大規模災害が想定される地域へのノウハウ移転も実施中。

● 特定非営利活動法人ダイバーシティ工房 ●



佐藤 佑紀 さん

特定非営利活動法人ダイバーシティ工房
アウトリーチ事業部マネージャー

宮城県仙台市生まれ。大学卒業後、2014年4月から宮城県公立中学校にて社会科教諭として勤務。2020年4月NPO法人ダイバーシティ工房に入職。こども支援・子育て支援を通じた地域づくりに従事し、2022年4月から現職。また、無料SNS相談「むすびめ」の運営責任者も担当。千葉県立市川工業高等学校「開かれた学校づくり委員会」委員。

● 認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル×サンネット株式会社 ●



萩原 美由紀 さん

認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長

ダウン症の息子がきっかけで、当事者団体と出会う。2012年、障害者アートに出会い、障害者の得意なことを追求できる仕事場を作りたいことを決意。2013年NPO法人アール・ド・ヴィーヴルを設立し、アート活動を行っている。現在、就労継続支援B型と生活介護、ギャラリーカフェを営業。誰もが豊かな人生を送れるインクルーシブな社会を目指して活動中。



市川 聡 さん

サンネット株式会社代表取締役社長

大学卒業後、輸送用機器メーカーに勤務後、サンネットに入社。2004年から取締役、2010年から現職。経営理念(Credo)を掲げ、単なるIT会社ではなく、皆さんから愛される企業を目指す日々。障がい者アートがきっかけとなり、独自のOCRデータ入力システム(SICS)を開発し、障がい者雇用を実現。2021年12月にかがわ障害者雇用優良企業の認定を受ける。

Photo by Miyoshi Iwasawa



～WAM助成に興味を持っていただけの方へ～
Facebook, Twitterにて、NPOの活動や福祉活動に関するお役立ち情報など、随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください！《アカウント名：WAM助成》

